



山形県警察が推進中の ～安全・安心を誇れる山形県を目指した～ 諸対策



山形県警察本部生活安全部
参事官兼生活安全企画課長 警視

大江 由勝

1. はじめに

新年明けましておめでとうございます。

山形県警察では、「県民の期待と信頼にこたえる力強い警察」～安全・安心を誇れる 山形県を目指して～を指針とし、「犯罪の抑止と検挙」「交通事故の防止」「現場執行力の強化」「有事に備えた体制の強化」「地域社会の連携と協働」の5項目を重点目標に掲げ、県内の治安の維持に努めております。

現在、自治体や地域住民、ボランティア、関係機関団体等との連携と協働により県民が安全で安心して暮らせる地域社会の実現のため、犯罪の抑止と検挙に向けた諸対策を推進しておりますが、その主な取り組み状況について紹介させていただきます。



山形県警察本部

2. 山形県の特徴と犯罪情勢

(1) 地勢等

東北の南西部に位置する当県は、蔵王連峰、西吾妻連峰、月山、鳥海山、羽黒山、湯殿山といった名峰が連なり、県を横断する最上川や芭蕉の句で名高い山寺など豊かな自然に恵まれており、特に、さくらんぼやラ・フランスといった果物は豊富で、年間を通して楽しむことができます。

またあまり知られていませんが、全国で唯一、全ての市町村に温泉が存在する県でもあります。



上杉謙信公之像

県土面積は、9,323平方キロメートルで、東京都、神奈川県、千葉県の1都2県の面積の合計に相当し、全国第9位の広さとなります。

人口は平成21年10月1日現在の推計で、117万9,964人であり、平成8年以降、減少傾向にあります。

昨年は、県南部の米沢市がNHK大河ドラマ「天地人」で脚光を浴びました。主君・上杉景勝を生涯支え、関ヶ原の合戦以後、会津百二十万石から米沢三十万石に厳封され、領国が四分の一になってもなお、家臣を一人もリストラせず米沢藩の基礎を築いた直江兼続の墓所を訪れる観光客が今も跡を絶ちません。

同市には、上杉家の居城跡（上杉神社）をはじめ、上杉謙信や上杉家歴

代の藩主が眠る墓所（上杉御廟所）、直江兼続夫妻や重臣の墓所（春日山 林泉寺）をはじめ、上杉神社稻照殿（宝物殿）や伝国の杜（歴史博物館）といった見どころがたくさんあり、連日多くの観光客で賑わっています。

また、日本アカデミー賞最優秀作品賞、米アカデミー賞外国語映画賞などを受賞した映画「おくりびと」は山形県北部の庄内地方が舞台となっており、「たそがれ清兵衛」「蟬しぐれ」「隠し剣 鬼の爪」「武士の一分」「山桜」等で有名な時代小説作家、藤沢周平も同地方・鶴岡市の出身です。

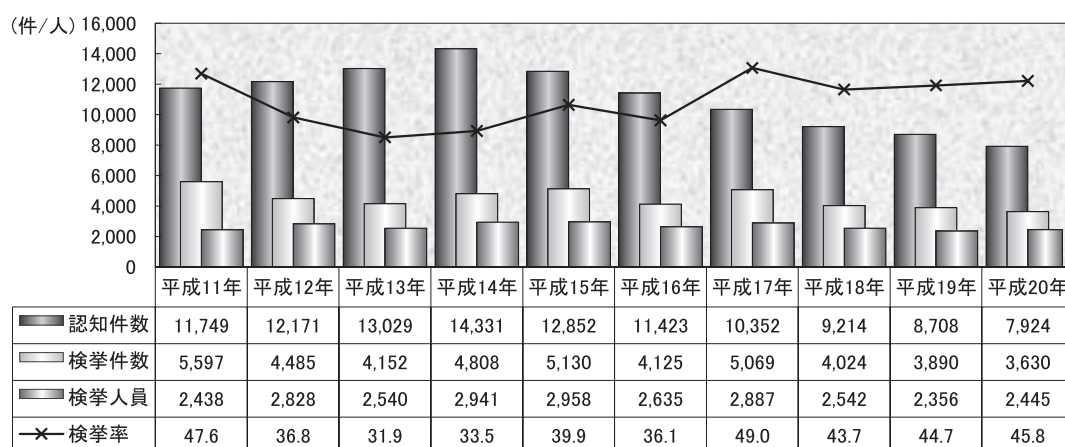


銀山温泉

(2) 犯罪情勢

県下の治安情勢は、平成14年の刑法犯認知件数14,331件をピークに6年連続で減少し、一昨年は、平成14年のピーク時より45%も減少しましたが、昨年は自転車盗と万引きを中心に増加に転じたほか、殺人、強盗、放火をはじめ悪質巧妙な振り込め詐欺なども跡を絶たない状況であり経済情勢の悪化が県内の治安に与える影響も懸念されるところです。

山形県の刑法犯認知・検挙状況



3. 犯罪抑止対策の推進と体感治安の向上

(1) 安全・安心なまちづくり活動

○ 「かかりつけお巡りさん」事業

本県では、「かかりつけお巡りさん」事業を展開し、地域に密着した警察活動を推進しております。この施策は、各々受持区域で活動する地域警察官が、健康管理や病気の際に「かかりつけ医」を頼るように、受持区域内住民の最も身近で頼もしい存在となり、安全・安心な生活を確保することを目的とするものであり、① 公民館における「出前交番・駐在所」の開設、② 「かかりつけお巡りさんホットライン」の運用等を推進しているところです。



出前交番

「かかりつけお巡りさんホットライン」は、昨年9月14日から運用を開始しており、携帯電話を

52の駐在所に貸与し、地域住民の意見・要望の把握と地域安全情報の提供を行っております。携帯電話は、いつでもどこでも担当の警察官と連絡が取れるほか、文字・映像の送受信であるメール機能により、多様な要望等に対し迅速な対応が可能となり、警察と地域住民とのより深みのある絆が構築され、地域住民の安心感を醸成して、体感治安の向上に繋がるものと考えております。

今後は、地域住民の方々に、この「ホットライン」を効果的に利用していただけるよう施策の浸透を図るとともに昨年9月から実施している公民館での出前交番・駐在所も定着させ、地域警察官一人一人が「かかりつけお巡りさん」となり、地域に密着した警察活動を推進することとしております。

○ 防犯ボランティア活動

本県では現在425の防犯ボランティア団体が活動を行っており、県内14の警察署と連携協働した防犯パトロールや広報・啓発活動を活発に行っております。中でも酒田市浜田学区のボランティア組織「さわやか声かけ会見まもりくまくん」は、昭和58年から、地区内の34自治会、18関係機関団体が核となって活動を展開しており、通常の子ども見守り活動から一歩進んで、「子どもを見守り育てよう」のスローガンのもと、夏休みを利用して「遊びの学校」と名付けたサマーキャンプの開催や、会員指導のもと、地域の行事を子ども達に企画立案させ、地域の一員としての自覚と地域愛の醸成を図っているほか、世代間交流を深めるため、「3世代交流グランドゴルフ大会」を開催するなど幅広い活動を行っており、その功績が認められて、昨年10月9日、平成21年安全・安心なまちづくり功労者として内閣総理大臣表彰を受賞しております。

また、昨年10月11日には、高齢者の犯罪被害を防止するために、県内で最大購読者を有する「山形新聞親交会」と「地域安全運動に関する覚書」を締結し、「やましん地域安全ネットワークみまわりさん」の名称で活動を推進しております。これは、日常の新聞配達や集金業務を通じて、特異事案を聞知した場合の警察通報や被害防止のための情報提供をしていただくほか、毎月11日を「みまわりさんの日」に指定して、活動を強化していただいております。



みまわりさん

○ 地域安全パトロール事業

今年度から「緊急雇用創出特別基金」を活用し、昨年6月から本年1月までの8ヵ月間、延べ432名を刑法犯の認知件数が多い県内の警察署管内において、警備業者の制服を着用した警備員が2名1組で徒歩又は自転車でパトロールを実施する「地域安全パトロール事業」も推進しております。

(2) 振り込め詐欺被害防止対策の推進

本県の振り込め詐欺による被害は、昨年、認知件数が139件、被害額が約1億6千万円を超えましたが、総力を挙げた取締り及び県民と警察が一体となった予防活動を推進した結果、被害が大きく減少し、昨年10月末現在の被害は、52件、約5,800万円で、これは前年同期比で－68件（－56.7%）、被害額も約9千万円の減少となっております。

しかし、依然として高齢者の蓄えを狙った悪質な被害が見られるほか、新たな手口の被害等も懸念され、今後も事件の検挙と被害防止の両面の対策を着実に推進することが求められおり、特に、被害防止対策としての広報啓発活動の促進、被害発生時の積極的な情報提供による被害拡大の防止、高齢者に対

する被害防止対策が課題となっていることから、次のような諸対策を推進しているところです。

- 民放テレビ局と県防犯協会連合会との、「振り込め詐欺撲滅合同キャンペーン」の実施（テレビスポット放送の集中的な広報啓発と相乗効果を狙った特集放送や県内イベント会場におけるキャンペーンの実施等）
- 訪問型詐欺対策として、パトカーや県警ヘリによる広報のほか、防災行政無線を活用した被害拡大防止活動
- 必要な情報が時期を失することなく地域住民に伝達され、自主防犯活動を促進するため、電子メールによる情報提供利用者の拡大
- 県内の老人クラブと金融機関に働き掛けてＡＴＭ利用限度額引き下げ手続きの促進

などを推進しております。



振り込め詐欺撲滅ポスター

(3) 子どもと女性の安全を守る活動の推進

昨年、県警で「警察活動に関する県民の意識調査」を行った結果、地域の治安に対する認識については５年前に比べると、全体の約３割近くが「悪くなった」「やや悪くなった」と回答しております。「子どもや女性に対する声かけやわいせつ事案」など、身近な犯罪の発生が県民の不安を強くしていることが窺え、県警ではこれらの発生抑止に向けて対策を強化しているところです。

県警では、昨年４月１日に生活安全企画課内に、警部１名、警部補５名、巡査部長１名の計７名からなる「子ども女性犯罪対策係」を設置しました。ちなみに７名の係のうち４名が女性警察官です。

この女性犯罪対策係の任務は、子どもや女性を対象とする性犯罪等の前兆とみられる声かけ、つきまとい等について行為者を特定し、検挙又は指導警告措置を講ずる活動を行うものです。

すでに、県内各警察署と連携しながら、事件解決に努めているところですが、子どもと女性を対象とする性犯罪が、当事者や家族に深刻な影響を与えていることを考えると、「子ども女性犯罪対策係」の任務は非常に重要であり、今後も事案発生時には迅速的確に対応していきたいと考えております。

4. おわりに

安全で安心して暮らせる山形県の実現のために山形県警察が推進している取り組みの一部を紹介させていただきました。

経済情勢の急激な悪化等により、県内の治安情勢は、過去６年連続で減少していた刑法犯認知件数が増加に転じているほか、殺人、強盗、放火といった犯罪の発生など、予断を許さない厳しい状況にあります。

こうした情勢を踏まえ、常に「県民の期待と信頼にこたえる力強い警察」を念頭に、全職員一丸となって、安全・安心を誇る警察目指して邁進しているところです。

おわりに、本年が皆様にとりまして良き年となりますように祈念しまして、筆を置きたいと思っております。